

住宅設備の王道が街へ出た！！ マンションの当たり前が、街の当たり前へ

株式会社フルタイムシステム

2015年夏、東京都内自由が丘駅近くのリサイクルショップ、ブックオフ店内に黄緑色のド派手なロッカーが姿を現しました。蛍光色の黄緑色をベースに、ハグオールの大きなロゴをあしらったデザインは、店内の顧客だけでなく、通行人の目線まで奪うほど。このロッカーの正体は、「ロッカー型買取システム」。中古品販売の株式会社ハグオールと宅配ボックス最大手の株式会社フルタイムシステムが共同で開発し、スタートさせた仕組みです。すでに都内のブックオフ店舗20カ所で採用されているだけでなく、ららぽーとや若い者に絶大な人気を誇るデパート、丸井にも設置されています。



ロッカー型買取システム

中古品販売のハグオールと、宅配ロッカー大手のフルタイムシステムが共同で開発。都内のブックオフ店舗などに設置されています。

「ロッカー型買取システム」とは、その名の通り、宅配ボックスを活用した完全無人の買取サービス。使わなくなったブランド品やバック、電化製品などを、宅配ボックスから出荷できる仕組みです。利用者は、宅配業者とのやり取りや集荷時間などを考えることなく、また人と対面する事なく出荷することが可能。送料や手数料も不要です。

昨年10月1日に三井ショッピングパークららぽーと横浜の1階セントラルコートに設置された同ロッカーは、ひととき目立っていました。買い物のついでに気軽に利用する利用者の姿が見られ、多くの人々が、「煩わしい段ボール手配も要らないからとても便利」、

と話していました。

今後、リサイクルやリユースが社会に浸透し、すべてのものが当たり前で世代や利用者を超えて再利用されて行く時代を前に、気軽に出荷できる環境を整えることは必須課題。そういった中で、この宅配ボックスを活用した買取システムが注目を集めているのです。

こういった街置きのロッカー、通称「街ロッカー」は種類や用途がじわじわと広がっています。その背景にあるのは「好きなときに好きな場所で受け取れる」、オムニチャネルという考え方です。

日本は、全国津々浦々におよぼ宅配・郵便網の優れた環境により、「自宅以外の場所で受け取る」という発想が、諸外国に比べて遅れています。しかし、単身世帯の増加や労働環境の変化、また再配達を削減させたいという配達業者側の都合も相まって、「自宅以外」の場所での受取りニーズは格段に高まっています。

宅配ボックス最大手のフルタイムシステムは、これまで分譲マンションや賃貸マンションを中心に、約2万3,000カ所で宅配ボックスを設置してきました。しかし今後は、「好きなときに好きな場所で受け取れる」、ラストワンマイル問題の解決に向け、マンション以外での設置を増やしています。前述のららぽーとや丸井といった商業施設をはじめ、さらにはオフィスビルやコンビニ、大学など、多くの方が集まりやすい場所に設置してきました。今後、さらに積極的に無人で手軽に受け取れるフルタイムロッカーの採用を提案していく考えです。

ららぽーと横浜に「ロッカー型買取システム」が設置された6日後の10月7日、フルタイムシステムは新たなサービスをスタートさせました。なんと日本郵政株式会社が展開する無人の受取りサービス「はこぼす」にフルタイムシステム製のロッカーが採用されることが決まったのです。

「はこぼす」は、宅配ボックスを活用したいままではない新しい荷物の受取りサービス。日本郵政株式会社と楽天株式会社の連携事業で、消費者は、インターネット・ショッピングモール「楽天市場」で購入した

商品の受取りの際に、「はこばす」を利用することができます。10月15日から、首都圏を中心とした郵便局など24カ所で順次設置され、運用が始まりました。利用者は自宅近く、または職場そばの郵便局など、もっとも荷物を受け取りやすい場所を指定し、24時間365日いつでも受け取ることができます。



首都圏で24の郵便局に設置されている「はこばす」
楽天市場で購入した商品を、24時間365日いつでも受け取ることができるとあって消費者に好評。

インターネット通販本格到来の中で、自分から自分への配達、つまりネット等を通じて注文した商品を自分自身が受け取る、という流れが加速しています。自ら注文した荷物は、利用目的が明確であるが故に、「すぐに欲しい」という要望が強く、より都合の良い場所を求める傾向が強いと言えます。ネット通販の隆盛により、荷物量は今後10年で現状の2倍を超えとも言われています。その数、年間70億個。より多くの方がスムーズに受け取れる環境を早急に整えなければなりません。

ネット通販の中でも、最近、利用者が特に増えている業界があります。それはスーパーマーケット。イオンモールが提供する「おうちでイオン」は、インターネットで注文した商品を日本全国に届けるサービスで、子育て世帯や働く女性などの単身世帯、高齢世帯などで絶大な指示を受けています。

フルタイムシステムは、昨年9月と12月、イオンモール佐野新都心店（栃木県佐野市）、御嶽山駅前店（東京都大田区）で、それぞれ「イオンネットスーパー」の受取りボックスとして稼働するフルタイムロッカーを新設し、サービスの提供をスタートさせました。店内にフルタイムロッカーを設置したことで、店舗の営業時間内であれば、好きな時間に、好きなタイミングで利用者の都合に合わせて注文した商品を受取ることが可能となります。利用者はレジの待ち時間の削減、買い物の省力化が可能となるだけでなく、自宅への宅配の場合どうしても縛られがちだった受取り時間から



イオンの御嶽山駅前店に設置されているフルタイムロッカー「イオンネットスーパー」で購入した商品を、好きなタイミングで受け取ることができます。



「イオンモール佐野新都心店」に設置されているフルタイムロッカー
利用者は、買い物時間の節約やレジ待ち時間の削減ができると同時に、また、自宅への配達の場合発生する自宅待機時間から開放されます。

開放されることになりました。

現在、食品業界は、ネットスーパーの普及に力を入れており、フルタイムロッカーはその流れを後押しすることになると、評価されています。

当社は30年前、世界で初めて宅配ロッカーを製造し、マンション居住者のスムーズな荷物の受け取りに全力で挑んできました。結果、設置台数は、2万3,000棟を突破し、利用者数は約450万人と世界1位の実績を持つに至っています。

そして現在、設置場所は、自宅から公共スペースへと大幅に拡大しました。

今後も「好きな場所で好きなときに受け取れる」環境実現を目指し、「街ロッカー」の普及に力を入れていく考えです。